



この秋からの
診療情報・あれこれ

内科新患外来のご案内

内科の午後診療について

新患外来新設に伴い、内科の午後診察を再来患者さんのみとさせて頂いております。ただし、診療日は月曜日・火曜日・金曜日となり、水曜日と木曜

内科新患外来・はじめました

はじめての患者さんを中心に診察する「内科新患外来」を新設しました。しばらく受診されていない方・各種健康診断・市の特定健診などを中心に、月曜から金曜日までの午前のみ交代制で医師が担当いたします。「内科新患外来」は午前のみですのでご理解とご協力をお願いいたします。

日は休診です。ご注意ください。また、来月からはその内科午後診療を待ち時間軽減を目的とし予約制とさせて頂く予定です。是非この機会に主治医へ予約取得していただきます様ご相談下さい。

第12号
発行 J A新潟厚生連 新潟医療センター
発行責任者 田中憲一



放射線科テレビ室に導入された最新式装置

救急患者の対応

救急患者さまに関しましては、この限りではありませんので、お困りの際はお気軽にご相談下さい。これからは地域の皆様へ信頼と安心を与えられる外来診療を提供して行きたいと思っておりますので、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

内視鏡テレビ室と放射線科テレビ室

これまで放射線科に二台設置されていたX線テレビ装置を、検査の効率アップを目的に、ひとつを内視鏡テレビとして消化器病センターへ、もうひとつは放射線科へ配置を変更いたしました。

放射線科テレビ室へは、最新の装置が更新されました。より鮮明でワイドな透視画像が観察できるだけでなく、体内金属に影響されにくい断層画像が撮影出来るようになりました。

マンモグラフィ室

テレビ室の配置変換に伴い、これまでは診療部門の裏側にあったマンモグラフィ室を中央廊下側に配置しました。マンモ検診の関心が高まる今日だからこそ、皆さんにご利用しやすい配置変換となりました。

新任医師紹介

この秋より、着任された医師をご紹介します。



小児科 石井孝規

十月より赴任してまいりました、小児科の石井孝規と申します。新潟市民病院で初期研修を行い、その後新潟大学小児科に入局し、県立新発田病院、済生会新潟第二病院、新潟大学医歯学総合病院を経て当院にまいりました。まだまだ若輩者で至らない点が多くあると思いますが、気軽に気になることを何でも相談してください。前途ある子供たちのお役に少しでもたてるように一生懸命頑張りますので、よろしくお願いたします。



整形外科の角谷です。山形県出身で、今年の四月に新潟大学の医局に入局し、新潟大学病院に勤めていました。方向音痴なため迷子になったりもしますが、天気のいい日は散歩をして過ごすのが好きです。オスシメの場所がありましたら、ぜひ教えていただきたいと思っております。未だに勉強が必要な身ではありますが、少しでも皆さんのお力添えができるよう精進して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

整形外科 角谷梨花

病院探索

病院祭編

病院祭を終え、
企画運営した職員の声



晴天に恵まれた第二回病院祭へ、多くの皆さんに来院して頂きました。「深めよう地域と医療の絆、あなたの健康をサポートします」のテーマに沿い、企画運営に携わった職員のお届けいたします。

昨年に引き続き、ふれあいステージの担当でした。日頃、なかなか生では聴けない寄席や身近に起こりうる病のディスカッション、様々なボランティアによる演奏やダンスが有り、老若男女に喜ばれ満足して頂ける結果に終わったと思います。また、昨年出来なかつた車椅子スベースが確保でき、入院患者さんにも近くで見られて、大変良かったと思います。今後も改善すべき所は変え、より良い病院祭を開催していきたいです。

副実行委員長
富井貴士

リハビリテーション科では身体年齢チェックを実施しました。リハ科としての催しは今年が初めてということもあり、集客できるのか？という不安も若干ありましたが、当日は予想をはるかに上回る数の方々に来ていただきました。スタッフ一同「しんどかった！」というのが率直な感想ですが、来客者の方々の笑顔も多く見られ、振り返ればそれ以上に嬉しい結果になったと思います。

身体年齢チェック担当
阿部健介

今回、病院祭の実行委員として初めて参加しました。裏部隊の設営を担当しましたが、会場づくり・復元時の職員の結束力に驚かされた。職種関係なく、一つの目標に向かうところまで団結ができるのかと感動しました。

設営担当
桑原正祐

病院祭を無事に終え、ほっとしています。当日は、普段とは違った賑わいに驚きつつも、地域の方々からの関心の高さを感じる事が出来ました。私の担当した受付部門では、昨年の反省を踏まえ、職員間の連携もあり、来院された方へのスムーズな対応が出来たと思います。しかし、また新たな改善点もいくつか見つけましたので、来年度への課題とし、より良い病院祭を継続させていきたいと思っています。

受付担当
坂井雄生

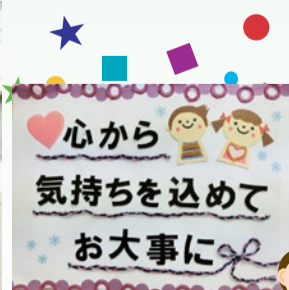


十二時販売開始にもかかわらず早くから多くの方々に並んで頂き、一時間半ほどでほぼ完売しました。病院職員から昨年より多くの品々の協力を得て、売り上げも昨年のほぼ二倍になり、東日本大震災チャリティーとして大成功だったと思います。バザーに足を運んで頂いた皆さまからは「楽しみにしている」、「毎年やって欲しい」とのご意見を頂きました。来年度に向けて強い後押しを頂いたと身の引き締まる思いでした。

バザー担当
島田操子

編集後記

秋も深まり綺麗な紅葉が見られる時期となりました。さて、この度、第二回病院祭中で接遇ホスターコンクールの優秀作品が決定しました。職員一同、笑顔や挨拶など、気持の良い接遇を心がけていきたいと思っています。



(記事・植草)